



特定非営利活動法人 Arts Planet Plan from IGA

アトリエニュース

〒518-0205 三重県伊賀市伊勢路字青山1381-77 Tel (186-)0595-53-1077



[2007/12/08 発行 編集担当：森田 耕太郎]

師走になっても、まだ紅葉を見ることができる所もあるという、地球温暖化の影響が深刻な昨今ではありますが、会員の皆様は如何お過ごしでしょうか。上半期の主要な活動であった Artist in Residence の記録集の編集も終え、印刷の上がりをお待ちしております。今号では、秋以降の活動の報告と研修旅行の案内等をお伝えします。また、「庵プロジェクト」もいよいよ始動します。楽しい「ものづくり」を通じて、会員や地域の方々との交流を一層進める機会になればと思います。

第2回実技講習会「藍染体験と大和郡山散策」の報告です。

普段の伊賀市青山地域での活動と趣を変え、初めて外部の施設を活用した実技講習会を、秋晴れの10月13日(土)に開催しました。参加者は会員5名、会員家族・知人5名、計10人の実技講習会となりました。午前中は、豊臣秀吉の異母弟の大和大納言 豊臣秀長以来の城下町である大和郡山を散策。大和郡山城址、柳沢神社、銘菓御城之口餅で知られる和菓子店などを見学しました。日本料理店での美味しい昼食の後、午後は「やまと金魚園」まで、少し腹ごなしを兼ねて歩きました。途中の水路には養魚池から流れ出た金魚が、そこかしこで泳いでいました。また、やまと金魚園には高価なランチュウ等、珍しい金魚が沢山飼われており、目を楽しませてくれました。帰路に通った、昔の遊郭跡の地域では立派な木造3階建ての建物が往時を偲ばせていました。3時から箱本館「紺屋」で梅崎由起子さんのご指導で、徳島産の本藍を使った藍染を体験。洗濯はさみ、ビー玉、フィルムケース、輪ゴム、板などの身近なものを防染具として使い、手軽に本物の藍染を楽しみました。参加者の皆様はハンカチやバンダナなどを各自の思い思いのデザインで染め上げていました。大人の遠足を満喫した一日でした。ただ、会員の参加人数が少なく、少し残念でした。

(第2回実技講習会担当 森田 耕太郎)



大和郡山城址にて



藍甕に見入る参加者



染め作業を楽しむ会員

2007年度研修旅行の予告です。

本年度の研修旅行の概要が決まりましたのでご案内致します。本年は、祭りとアートに出会う島として知られる愛知県の「佐久島」と朱泥の急須や土管で有名な「常滑」です。佐久島は三河湾にある島ですが、大企業が経営しマスコミにもよく取り上げられている瀬戸内の「直島」と比べると、なじみが薄いところですが、地域や地元住民の方々が「アート」を通じた島起こしの活動を着実にされているところです。AiR2004参加作家のワリー・ホーズさんやワリーさんの知人の家坂さんから紹介して頂いた所です。本法人の Artist in Residence at IGA の活動や伊賀市青山地域にも大いに参考になりそうです。丁度、知多半島と渥美半島の間にあり、4名の作家の常設作品と現代美術家の青木野枝さんの作品展などを鑑賞します。また、近くにある日本六古窯の一つ常滑焼の陶郷も風情あふれる町並みが有名です。「粘土カフェ」の活動とも連携を図り見学する計画を立てました。民宿で三河湾の海の幸を堪能し、芸術にも親しむ旅です。

日程は、2008年3月8日(土)～9日(日)の1泊2日で、名古屋にて集合・解散の予定です。

詳細は年始にご案内しますが、8日の11時に集合し、常滑の里を散策し、佐久島へ渡り、民宿で一泊します。9日に島内の作品を鑑賞し、名古屋より解散・帰路につきます。研修旅行といっても堅苦しいものでなく、交流と親睦を目的とした気軽な一泊旅行です。多くの方々のご参加をお待ちしております。ご予約ください。

(研修旅行担当：蒔田 邦子)

いよいよ始動か？「庵プロジェクト」！

今年の5月、「より楽しく」「より快適に」…と思い立って計画した「庵プロジェクト」。レジデンスのまとめである記録集の編集作業と発送（12/15）が終わるのを待って、今回、有志を募り初回の会合を行ないたいと思います。12/15の夕方5時からアトリエでの忘年会の席上をお借りし（宴会しながら）、用途、規模、敷地、工程、構想など、ゼロからの検討をしたいと思います。「こんなのがつくってみたい」と相談できる書籍などの資料やスケッチなど、具体的な提案があれば、大歓迎です。

なお、現在、岩風呂づくりに使う石材運搬の難しさ、川からの水源利用、岩風呂としてのロケーションの良さなどの観点から、アトリエ北側のクヌギ（？）の大木にツリーハウスとして建てることも考えようかとも思っています。奮ってご参加ください。宴会のみにご参加の方々にはご迷惑をお掛け致しますが、興味のある方は、奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願い致します。

（庵プロジェクト代表：石津 勝）



候補地 1・西側角地



候補地 2・アトリエ北

秋の活動報告

- 9月9日（日）：定例作陶会。3時で切り上げ、「風と土のかたち」展搬出のため、展覧会場に向かいました。
- 9月11日（火）：奈良女子大学文学部附属中等教育学校の校庭の間伐材を運びました。
- 10月14日（日）：定例作陶会。学生ボランティアさんに薪割りをしてもらいました。
- 10月28日（日）：奈良市の「田原の里・工房めぐり」参加者9名。松元洋一「青蛾窯」（大きな穴窯見学）→箱崎竜平「R工房」（見学&磁器の皿に絵付け体験）→窪田謙二 家具工房（見学&昼食）→藤本順正 木工工房（見学）→「メリーガーデン」ステンドグラス工房（見学）→お茶畑散策。楽しい秋の一日を過ごしました。
- 11月7日（水）：奈良女子大学文学部附属中等教育学校から2回目の薪運びをしました。
- 11月11日（日）：定例作陶会。3時頃から、アトリエから車で10分程度の青山高原別荘地の間伐材を運びました。
- ※ 昨年度は、市有林の赤松の提供を受けましたが、今年度は新たに、「粘土カフェ」メンバーの勤務校と居住地域の間伐材を頂きました。各方面から、穴窯焼成の燃料として間伐材を有効利用する事への好意的な共感とご理解を頂き、嬉しく思います。「ものづくり」を通じた心の交流に、励まされる思いです。

当面の予定

- 定例作陶会：12月9日（日）・1月13日（日）・1月14日（祝）・1月20日（日）・2月10日（日）・2月11日（祝）
各10時～17時 ※ご自由にご参加下さい。粘土の持込み可、必要な方は実費でお分けします。
- 薪割り：12月15日（土）午後1時から（終了後、忘年会）

穴窯焼成の日程が決まりました！

- 作品持込み締め切り：2008年3月16日（日）15：00まで
- 窯詰め：3月20日（祝）[予備日：21日（金）]
- 窯焚き：3月22日（土）～26日（水）[予備日：27日（木）]
- ※ 今年度は、参加費として、一般5,000円、法人会員3,000円が必要です。（学生ボランティアさんは参加費が無料です）参加費以外に、各個人の作品量の占有容積に応じた焼成費を頂きます。
- 申し込み締め切りは、2月29日（金）**ですが、予定容量と予定人数に達し次第、締め切りとしますので、お早めにお申込みください。募集チラシをご覧の上、事前に実施する、薪運び・薪割り・作陶会にも、是非ご参加願います。
- （「粘土カフェ」代表：田上 早百合）

会費納入のお願い・皆さまのご意見お待ちしております

- 2007年度も下半期となりました。恐縮ではございますが、継続会員の方の中でまだ入金されていない方は、年会費の入金をお願いします。
郵便口座：00890-1-106346 NPOアーツ プラネット プラン フローム イガ
- 法人のホームページがリニューアルされました、是非ご覧ください。あわせて、ご意見・ご要望お寄せください。「展覧会情報」のページを設けました。会員の皆様の個展・グループ展の情報を載せますので、事務局まで、是非お知らせください。
ホームページアドレス：<http://www.appfi.org> 事務局Eメール：contact@appfi.org